

2022年11月20日(主の日)

■招詞 ヨハネの手紙一 4:9 「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きようになるためです。」

■礼拝の祈り

天におられますわたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝もこうして教会に集まり、礼拝をおささげすることができます。重い体をひきずり、怠けたい心に打ち勝って、あるいは他の何か善いことをしたいという気持ちすらいったんおしどとめて、ここに集まりました。けれども、わたしたちの信仰深さではなく、あなたの支え、導き、招きによってこうして集うことができたのです。今は、礼拝堂ではなく離れて礼拝をしている者もおります。どうか、すべてのあなたへの賛美と祈りをひとつに集めてこの礼拝を天の礼拝としてください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

あなたに招かれているわたしたちですが、今み前に立って、自分自身が真実にあなたの恵みを映すものであるかと思う時に、顔を上げられない思いがいたします。相変わらず、自分の思いに生きようとするわたしたちであり、自分と、自分に近い者たちだけの幸せを願うことしかできないわたしたちです。御言葉を聞くのではなく、世の迷いごとをきき、自分の利益になることだけを上手に聞き分けます。祈りをもってあなたに心を注ぎ出すのではなく、自分の主張を声高に繰り返します。このままで、御前に立ち、賛美をし、祈りをささげ、御言葉を聞くのにふさわしいのか、と問わざるをえません。しかし、あなたから離れるこの罪は自分の意思で犯しているにもかかわらず、自分ではどうすることもできません。自分が反省したり、立派になろうとすることによって罪から清められることはないのです。あなたが、わたしたちを新しい者に作り変えてくださるしかないと信じます。造り主である神よ、あなたにしかおできにならないことです。このふさわしくない私を、あなたの恵みの力によって、新しく造りかえ、あなたにふさわしい者としてください。あなたが与えてくださる新しさという喜びに包まれて、わたしたちは今ここにいる、ということを実に分らせてください。

<み言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

そのために、今日のこの礼拝においても御言葉をお聞かせ下さい。あなたが語ってくださる御言葉によって、わたしたちの罪を赦し、新しい者とし、ふたたびあなたとの交わりの中に入れてください。このキリストの赦しの出来事がここで起こりますように。どうか、生まれ変わらせ、この心を救い主である主を賛美する心で満たしてください。あなたがふさわしい者としてくださるのですから、御顔を仰いで礼拝することができるはずで、この喜びの礼拝を祝福してください。御言葉によって新しくさせられる喜びを、今日も聞かせてください。

主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

2022年11月20日(主の日)

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<隠退教師を覚えて>

教会の務めを終えた隠退教師のことを憶えます。あなたの召しを受け、生涯をささげた教会の教師たちを、どうか今も恵みのうちに過ごさせてください。隠退の身でありながら、多くの働きをしている者たちもおります。病い、老いの中にいる者もおります。どうかあなたがこれらの者たちを顧みてくださいますように。こうして隠退教師のことを祈り、支えることができることも私たち教会の喜びです。これからも教師も信徒もともにあゆむことができるように導いてください。

<オリーブ・マーケット、クリスマスの備えを祝福してください>

本日はオリーブ・マーケットが行われます。あなたから与えられた恵みを分かちあうことは喜びです。どうか、フィリピンの子供たちの生活をお守り下さい。この会を礼拝の後の喜びの分かち合いの時としてくださいますように。

教会ではクリスマスの備えを始めています。今週はアドベント装飾も行います。忙しい時でもありますが、どうかわたしたちが心から、あなたが主イエスを送ってくださったことの意味を噛み締め、心から感謝する時としてくださいますように。アドベント、クリスマスを何よりも祈りと礼拝の時としてください。

教会の礼拝と行事に奉仕するものを強め、用いて下さい。見える奉仕をしていなくても、見えないところで仕えている者もおります。祈ることで奉仕をしている者もおります。ささげものをするので仕えているものもおります。どうかあなたの恵みにお応えするすべての者を顧みて下さい。

<修養会を豊かにしてください>

次週は教会で修養会を行います。信仰生活の喜びを改めて知りたい、確かめたいと願いつつ臨みます。どうか、あなたの恵みに生かされる喜びの招きとして聞くことができますように。あなたが遣わしてくださる小島誠志牧師をどうか守り、祝福し、力を与えて下さい。

<心と体に困難がある者を癒やしてください>

病気で伏せっているものをあなたが癒やして下さい。心の病、悩みのある者とともについてくださいますように。あなたしかすることができるお方はいないのです。どうか憐れんでください。

<祈りを聞いてください>

あなたがわたしたちの祈りを聞いてくださると信じて祈っています。祈りをお聞きください。また、あなたがわたしたちの必要と困窮のすべてをご存知であるとも知っています。どうかわたしたちにまことに必要なものをお与えください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。